

液化室だより

東大物性研究所 <http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/labs/cryogenic/>

研究室への立入検査について

先日、山下委員長より所員会にてお知らせいただきましたが、今後液化室では、大型設備の更新を控えており、その費用捻出の一環として**回収率の改善**を行う事となりました。つきましては、物性研内で液体ヘリウムを使用している研究室(実験室)の立入検査を行いますので、**御協力をお願いいたします**。また事前に、研究室内でも配管の接続などの自己点検をお願いします。

立入検査の日程等はこれから調整し、担当者に御連絡しますが、**1研究室あたり30分程度**を予定しています。なお、確認は**ヘリウム回収系(実験装置と回収ラインとの接続など)**を重点的に行いますが、ヘリウム容器や装置等の使用状況、トランスファーの仕方など、液体ヘリウムを使用する上で必要なことについて出来るだけ確認したいと思います。

【チェック項目】

- 1)ヘリウム回収系(実験装置と回収ラインとの接続等)
- 2)液体ヘリウム容器や実験装置
- 3)トランスファーの仕方
- 4)その他

【日程】

- 1)低温棟 12月中旬頃から
 - 2)その他 1月中旬頃以降
- ※時間は、午後1:30-3:30を予定。



ヘリウムリークチェッカとOリング

これを持って、確認に行きます！

事前に漏れがないか確認したい人は、貸出・配布可能ですので、液化室までご連絡下さい！

Swagelok安全講習会を開催しました

11月29日(13:30-16:30)に、**保安教育の一環としてSwagelok継手安全講習会を開催**しました。これは、日本スウェージロックFST株式会社が、通常は有料で行っている安全講習会を無料で物性研究所内で実施していただいたもので、内容は、ねじ規格の事、パイプとチューブの違いなど様々な話がありました。その中で、**チューブ継手の施工方法については、受講者一人一人が実際に手を動かしながら学ぶ**事ができました。

講習会には、物性研だけでなく、新領域、I PMUなどの他、本郷キャンパスや駒場キャンパス、学外からの、多くの教職員・学生の方々が参加して下さいました。

ありがとうございました。



問い合わせ [E-mail:ekika@issp.u-tokyo.ac.jp 内線:63515]